

令和3年度

学力向上推進員研修会資料

- 1. 「学力向上推進員」の役割**
- 2. 授業改善について**
 - ①国語力向上タスクフォースの提案から**
 - ②参考資料**
 - ③全国学力・学習状況調査から**
- 3. 徳島「未来の学び」創造プロジェクト**

徳島県教育委員会 学校教育課

1

1. 「学力向上推進員」の役割

- 「校内学力向上検討委員会」を企画・運営し、学力向上への組織的な取組を中心となって推進する。
- 校内の授業改善及び学力向上に向けた取組を充実・発展させていく。

2

1. 「学力向上推進員」の役割

学力向上の取組を組織的に進めるために

- 「学力向上検討委員会」を定期的開催する。
- 「学力向上実行プラン」の内容を全教職員で共有し、協働できる校内体制をつくる。

3

1. 「学力向上推進員」の役割

学力向上の取組を組織的に進めるために

- 全国学力調査や学カステップアップテストの問題分析を全員で取り組む。
- 全国学力調査や学カステップアップテストの結果分析を行い、点検・評価に生かす。特に良くなかった問題についてできなかった理由をしっかりと共有すること。

4

1. 「学力向上推進員」の役割

(1) 校内学力向上検討委員会の開催

〔開催の目安〕

- 第1回（4～5月ごろ）
学力向上実行プランの作成に向けて
- 第2回（8～9月ごろ）
学力向上実行プラン中間見直しについて
実行プランの運用状況を点検・評価
- 第3回（2月ごろ）
学力向上実行プランの完成に向けて
次年度、学力向上実行プランの素案づくり

※ 目安なので、各学校で回数や時期を決めてください。

5

1. 「学力向上推進員」の役割

(2) 学力向上推進員としての提出文書

- 学力向上実行プランの提出（5月）
→各学校のホームページにアップ
- ステップアップテストの結果分析の提出（8月）
- 全国学力・学習状況調査の結果分析の提出（9月）
- 徳島県学力向上確認プリントと国語力向上タスク
フォースからの提案を取り入れた実践（2月）
- 学力向上実行プランの提出（3月）
→各学校のホームページにアップ

6

1. 「学力向上推進員」の役割

(3) 今年度の研修会の予定

学力向上推進員研修会（小・中）

7月14日(水)午後 総合教育センター

各教科における授業づくり研修会

- ・ 小学校国語科・算数科
北部東部(11/8), 西部(11/5), 南部(11/1)
- ・ 中学校国語科(10/27) ※中学校は, 国語, 数学担当の先生が参加することになっています。
- ・ 中学校数学科(10/26)
小学校は北部東部, 西部, 南部の3地区に分かれて開催予定

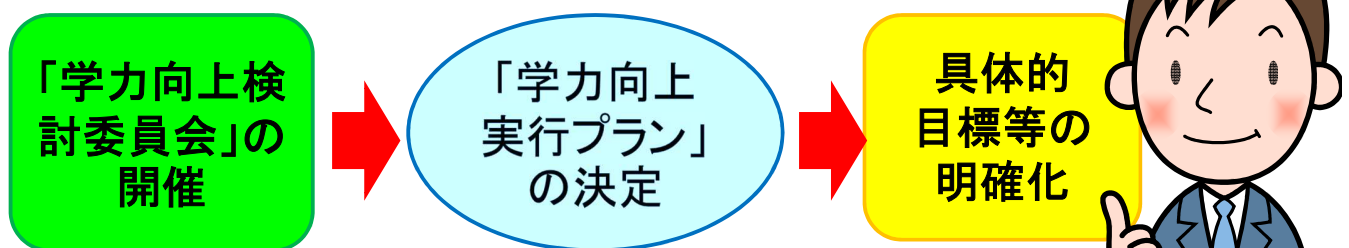
7

1. 「学力向上推進員」の役割 PDCAサイクルを回す

1 Plan 計画

主に4月～5月

- 「学力向上検討委員会」を開く。
 - ・ 子供の現状を分析し, 具体的目標等を明確にする。
 - ・ 「学力向上実行プラン(案)」を, 検討・作成する。
(学力向上推進員が, 案の作成等で力を発揮!)
- 全教職員でプランを共有する。



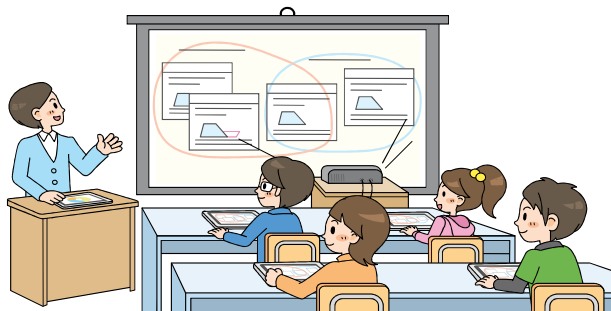
8

1. 「学力向上推進員」の役割 PDCAサイクルを回す

2 Do 実行

主に5月～7月

- 研修主任と連携し，校内研修や研究授業を計画・実施し，授業改善や指導力向上等の推進を図る。
- 全ての教職員の「学力向上実行プラン」に基づく授業実践を支援する。



「学力向上実行プラン」
の内容の周知を図る

教職員の協働
による取組の
推進

研修主任
との連携

校内研修・
研究授業
の実施

教育実践に関
する情報提供

9

1. 「学力向上推進員」の役割 PDCAサイクルを回す

3 Check 点検・評価

- 学力向上実行プランの具体的方策（教員の取組）を中心に，学力向上への取組を適宜，点検・評価する。
- 全国学力調査や学カステップアップテストの問題分析を全員で取り組めるように時間を確保する。

今年度は，全国学力調査の結果は，8月下旬に返却予定



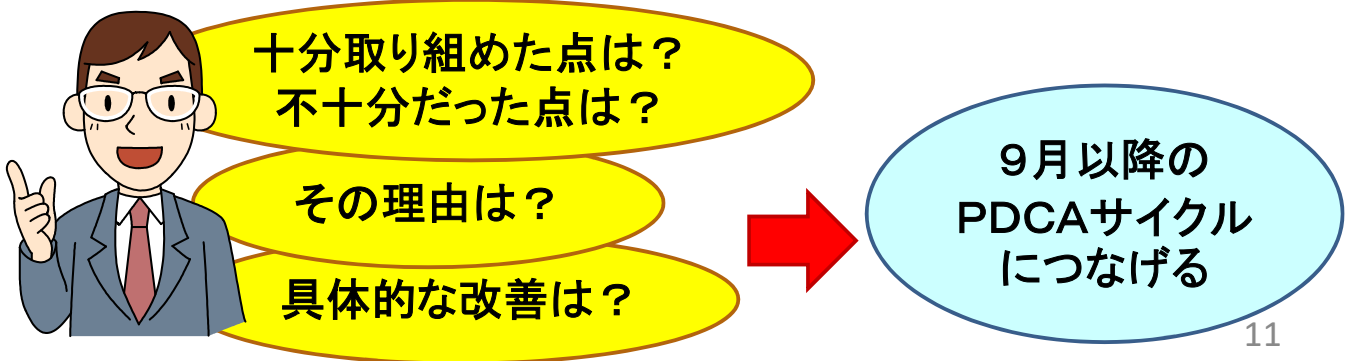
各学校で，点検・評価に生かせるような活用を

10

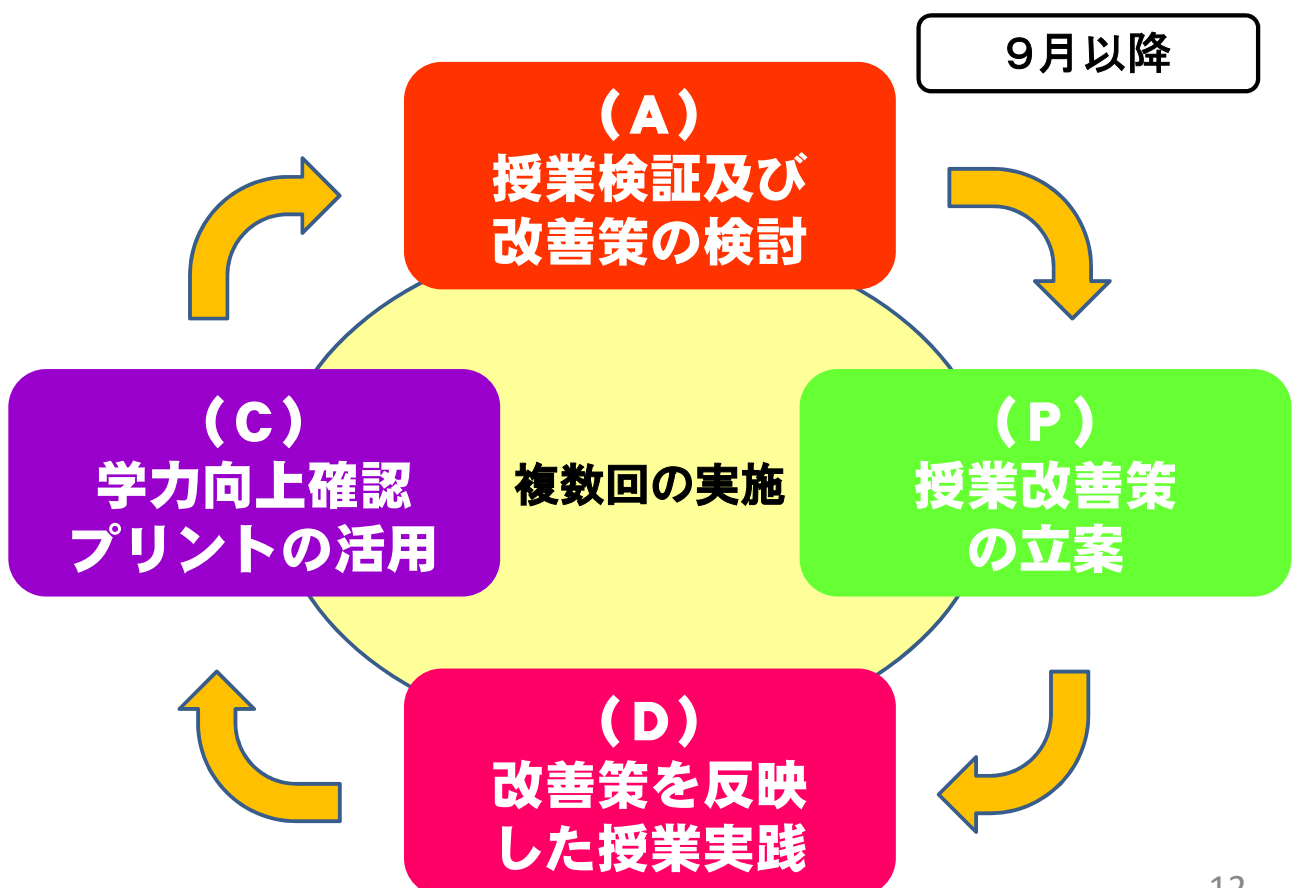
1. 「学力向上推進員」の役割 PDCAサイクルを回す

4 Action 改善

- 達成状況の把握を行い，達成状況に基づく評価により課題を発見する。（プランの中間見直し）
- 「学力向上検討委員会」を開き，課題解決のための改善策等を検討する。
- 具体的な改善策を全教職員に周知する。



1. 「学力向上推進員」の役割 PDCAサイクルを回す



2. 授業改善について

①国語力向上タスクフォースの提案から

① 国語力向上タスクフォースの提案から

● 国語力向上タスクフォースの提案の各教科の授業への活用の推進と状況の把握

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善のポイント
(国語力向上タスクフォースの提案から)

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性
子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

本書の児童生徒に身に付けさせたい力 ～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～
・文章の中心内容部分と部分的な部分、問題文の部分と全体像、まごめ部分などを読み分けて書写を促したり、問いの趣意やその解決に至る経路を正しく理解したりする力。
・目的に応じて必要な情報を集めるための読書しきり分け、情報として取り上げている内容が適切であるかどうかを判断したり、また、その場面の適切である理由が明確になるように自分の考えをまとめる力、表現上の工夫をしりする力。
・相手の趣意を捉えながら自分の考えを明確にもち、その考えを深めるために、誰に届いた適切な言葉遣いで話したり、書いて送りながら、互いに伝え合う力。

正確に読み取らせるためには！！ —教科書の音音や問題文の趣意、グラフが示す意味などの読み取り—
何が書かれているかを的確に捉えさせよう！
・アンダーライン
・メモ
・付箋
・ホワイトボード など
⇒ 重要な部分、問題文の部分と全体像、まごめ部分などを、読み分ける。
⇒ 注目すべき語句、指示語、接続語などに注目して、読み取らせる。
⇒ 読み分けや、相互関係を整理して、まとめさせる。

主体的・対話的で深い学びの視点から！！
自分の思いや考えを「書く」機会を確保しよう！
・メモ
・付箋
・ホワイトボード など
⇒ 重要な部分で整理させる。
⇒ 「思い」に込め、書くことで整理させる。
⇒ 書き進めたり、問たたりして確認させる。

自分の思いや考えを深めるために他の意見を取り入れる機会を確保しよう！
・スピーチ
・ペア学習での意見交換
・グループでの対話
・発表
・ピアレビューセッション など
⇒ 出し合う交流活動—様々な資料から情報を出し合わせる。
⇒ 出し合う交流活動—考え方を材料しらの影響し、受け止める。
⇒ 共有する交流活動—情報を共有して、意見を述べ合う。
⇒ 書き合う交流活動—異質した知識や技能を活かせる。

学んだことを振り返る機会を工夫しよう！
・ノート
・ワークシート など
⇒ 課題の考えを整理させ、自分の考えをまとめさせる。
⇒ 課題を解決した達成感と、次の課題達成も促せる。
⇒ 振り返り振り返りだけでなく、共有によって高め合わせる。

深い学びにつながる三つの視点！！
1 別の言葉に思い込ませてみよう。
例「きれい」ってどんな様子なんだろ、別の言い方をしてみよう。
例「たとえ」(比喩)を使って笑ったら、別と見えるだろう。
2 比べてみよう、異質と比べてみよう。
例「きれい」って「美しい」ってどう違うんだろ。
例「思ひ」ってどう違うんだろ。
例「前」って何じこがなかったかな。
3 今までの学習と異質と異質を比べてみよう。
例「きれい」って「美しい」ってどう違うんだろ。
例「思ひ」(感情)をもち、なぜそう考えたかを説明しよう。

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

① 国語力向上タスクフォースの提案から

正確に読み取らせるためには

教科書の内容や問題文の意図，グラフ等が示す意味などの読み取り



何が書かれているかを的確に捉えよう！

・アンダーライン
・丸や四角での囲み
・図や表



○重要な部分，問題提起の部分と具体例，
まとめの部分などを，読み分けさせる。
○主語と述語や，指示語，修飾語などに注
目して，読み取らせる。
○組み合わせや，相互関係を整理してまと
めさせる。



15

① 国語力向上タスクフォースの提案から

主体的・対話的で深い学びの視点からは

自分の思いや考えを「書く」場面を増やそう！

自分の思いや考えを深めるために他者の意見を取り入れる場面を増やそう！

学んだことを振り返る場面の工夫をしよう！

16

① 国語力向上タスクフォースの提案から

自分の思いや考えを「書く」 場面を増やそう！

- ・メモや付箋
- ・ホワイトボード
- ・タブレット端末
などで



- 箇条書きで整理させる。
- 思いついたことを，たくさん書き留めさせる。
- 書き足したり，削ったりして推敲させる。

17

① 国語力向上タスクフォースの提案から

自分の思いや考えを深めるために他者の 意見を取り入れる場面を増やそう！

- ・スピーチ
- ・ペア学習での意見交換
- ・グループでの話し合い
- ・討論
- ・ポスターセッション
などで



- 出し合う交流活動
→様々な資料から情報を出し合わせる。
- 比べ合う交流活動
→考え方を比較したり参考にしたりする。
- 高め合う交流活動
→根拠を明確にして意見を述べ合ったり，批評し合ったりする。
- 磨き合う交流活動
→習得した知識や技能を活用させる。

18

学んだことを振り返る場面の工夫をしよう！

・ノート
・ワークシート
・振り返りシート
・タブレット端末
などで



- 課題の答えを確認させ、自分の考えをまとめさせる。
- 課題を解決した達成感と、次への課題意識をもたせる。
- 個々の振り返りだけでなく、共有によって認め合わせる。

深い学びにつながる三つの発問は！

1 別の言葉に言い換えてみよう。

例 「きれい」ってどんな様子なんだろう。別の言い方をしてみよう。

例 「たとえ」(比喩)を使って表したら、何と言えるだろう。

2 比べてみよう。関連づけてみよう。

例 「きれい」と「美しい」ってどう違うんだろう。

例 「何か」とつながっていないかな。

例 前にも同じことがなかったかな。

3 そう考えた根拠と理由は何だろう。

例 「なぜ」「どうして」を互いに言い合ってみよう。

例 「考え」のもとになった「言葉」(根拠)は、どれだろう。

例 「言葉」(根拠)をもとに、なぜそう考えたかを説明しよう。

2. 授業改善について

②参考資料

21

② 参考資料

主体的・対話的で深い学び

■主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

■対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

■深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

② 参考資料

資質・能力の育成を目指す
主体的・対話的で深い学びのイメージ図

独立行政法人教職員支援機構
次世代教育推進センター



23

② 参考資料

ピクトグラム一覧

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
 興味や関心を高める	 互いの考えを比較する	 思考して問い続ける
 見通しを持つ	 多様な情報を収集する	 知識・技能を習得する
 自分と結び付ける	 思考を表現に置き換える	 知識・技能を活用する
 粘り強く取り組む	 多様な手段で説明する	 自分の思いや考えと結び付ける
 振り返って次へつなげる	 先哲の考え方を手掛かりとする	 知識や技能を概念化する
	 共に考えを創り上げる	 自分の考えを形成する
	 協働して課題解決する	 新たなものを創り上げる

独立行政法人教職員支援機構
次世代教育推進センター

24

「深い学び」の実現とは

子どもたちにより深く
「考えさせる」
(活用)



子どもたちが
知識・技能をつなぐ
(関連付ける)

25

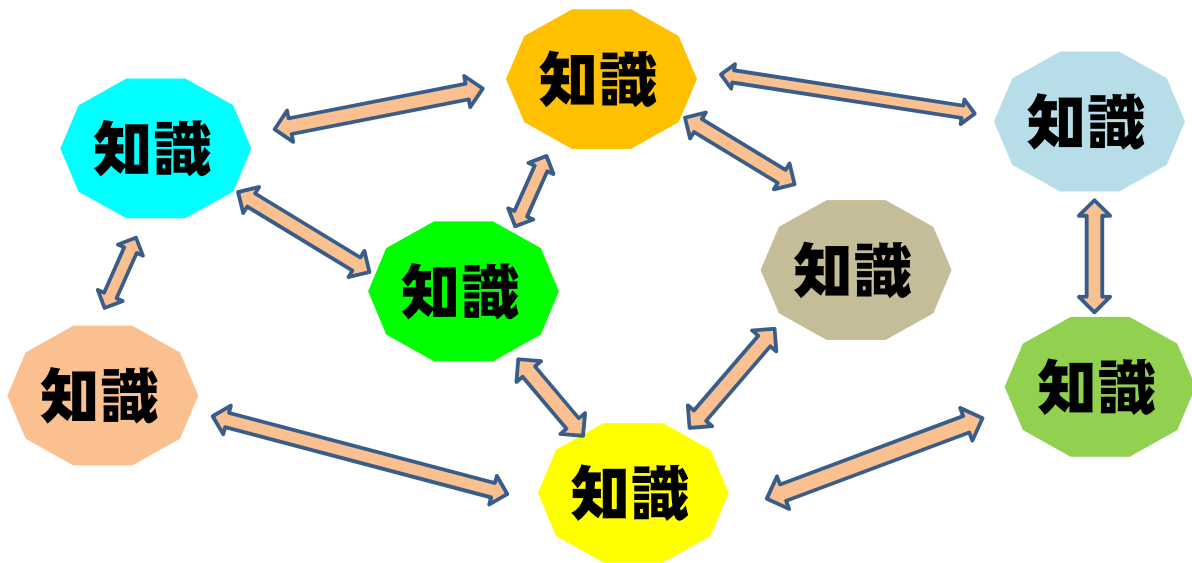
独立行政法人教職員支援機構 次世代教育推進センター資料より

「深い学び」が実現されていると思われる
具体的な子どもの姿

- 思考して問い続ける
- 知識・技能を習得する
- 知識・技能を活用する
- 自分の思いや考えと結び付ける
- 知識や技能を概念化する
- 自分の考えを形成する
- 新たなものを創り上げる

② 参考資料

「深い学び」の実現とは



事実的で個別的な知識



概念的で構造的な知識

独立行政法人教職員支援機構

次世代教育推進センター資料より

27

② 参考資料

校内研修や自己研鑽に使いましょう



n | t | s
National Institute for
School Teachers
and Staff Development

独立行政法人教職員支援機構

NITS 校内研修シリーズ

検索

<https://www.nits.go.jp>

上のホームページにオンライン講座の校内研修シリーズに動画がアップされています。教職員に声をかけて、活用してください。

28

② 参考資料

4月に各校1枚ずつ配布しています

● 第15版 CD版学習ガイドの活用の推進

CDに入っている内容

1 授業研修のための冊子

- ・教員のための手引 阿波っ子のみらい
- ・とくしま 授業技術の基礎・基本

全教員が使える
環境にしておきましょう。

2 小学校・中学校, 授業・家庭学習等で使えるプリント・手引等 小学校(国・算・理) 中学校(国・数・理)

3 平成31年度・令和2年度徳島県学力 ステップアップテスト

4 令和2年度・令和3年度県立中学校 及び県立中等教育学校適性検査

5 徳島県学力向上確認プリント



29

② 参考資料

「県学力向上関係資料」の活用の推進

総合教育センターホームページ

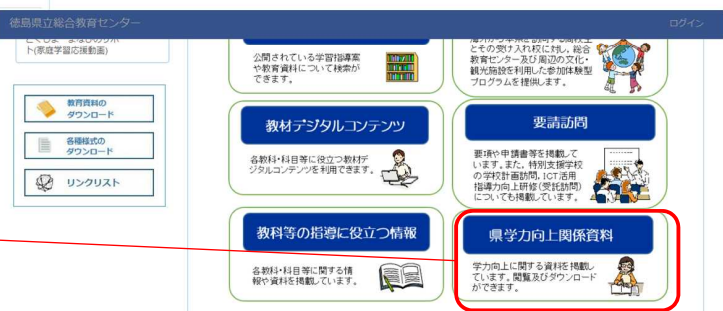
「学習ガイド関係資料」「徳島県学力向上確認プリント」「学カステップアップテスト」「授業づくり研修会」の資料等多数掲載されています。

掲載場所



①徳島県立総合教育センター
トップページの「教職員支援・学校支援」
をクリックする

②「県学力向上関係資料」
をクリックする



30

県学力向上関係資料

メニュー	県学力向上関係資料 メニュー
県学力向上関係資料	
GIGA・とくしま学び通信 >	▶ GIGA・とくしま学び通信
学習ガイド関係資料 >	▶ 学習ガイド関係資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校：国語 算数 理科 ・ 中学校：国語 数学 理科
徳島県学力向上確認プリント >	▶ 徳島県学力向上確認プリント <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校：4年 5年 6年 ・ 中学校：1年 2年
学カステップアップテスト（調査問題） >	▶ 学カステップアップテスト（調査問題） <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校：4年 5年 ・ 中学校：1年 2年
学カステップアップテスト（分析） >	▶ 学カステップアップテスト（分析）
学力向上推進員研修 >	▶ 学力向上推進員研修
授業づくり研修 >	▶ 授業づくり研修

<https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/> アドレスの入力も可

「学習ガイド関係資料」「徳島県学力向上確認プリント」「学カステップアップテスト」「授業づくり研修会」の資料等多数掲載されています。

周りの教員に声をかけて、活用を進めていきましょう。

31

2. 授業改善について

③ 全国学力・学習状況調査から

全国学力・学習状況調査

問題作成について

新しい学習指導要領で育成を求めている資質・能力を踏まえて作成。

教員による指導改善や，児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立てるための視点。

新学習指導要領の考え方，国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮。

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 平均正答率

	教科	徳島県 (公立)	全国 (公立)	差
小学校	国語	63	63.8	-0.8
	算数	65	66.6	-1.6
中学校	国語	70	72.8	-2.8
	数学	59	59.8	-0.8
	英語	57	56	+1

③ 全国学力・学習状況調査 平成31年度から

相関係数 児童質問紙(小学校) 国語・算数の両方とも0.2以上

- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか
- 国語の授業の内容はよく分かりますか
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか
- 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか
- 算数の授業の内容はよく分かりますか
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか
- 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

35

③ 全国学力・学習状況調査 平成31年度から

相関係数 生徒質問紙(中学校) 国語・数学の両方とも0.2以上

- 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか
- 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか
- 国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つげたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか
- 英語の勉強は大切だと思いますか
- 英語の授業はよく分かりますか
- 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
- 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
- 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

36

3. 徳島「未来の学び」 創造プロジェクト

37

徳島「未来の学び」創造プロジェクト

**「主体的・対話的で深い学び」の実現による、
子供たちの「確かな学力」の育成**

今年で、4年目になるプロジェクトです。

これまでの徳島県での様々な取組の成果を生かし、新学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援しながら、さらなる「確かな学力」の育成を進めています。

プロジェクトの概念図は、次のようになっています。

38

徳島「未来の学び」創造プロジェクト

「主体的・対話的で深い学び」の実現による、子供たちの「確かな学力」の育成



3.徳島「未来の学び」創造プロジェクト

プロジェクトにある鳴門教育大学との連携による取組

○「大学連携強化！学校力向上拠点校事業」

学校力向上の実現に向けて、学校力向上拠点校を指定し、同じ中学校区の協力校とともに「学力向上実行プラン」に基づいた組織的な取組を行う。学校訪問や授業研究会等を通して、各校の学力向上の取組を支援する。

(今年度は10校の小中学校・中等教育学校で実施)

○授業力向上のための研修

鳴門教育大学との連携による研修を実施し、授業力向上を図るとともに、その成果を県内に普及する。

(『授業づくり研修会』10月、11月開催予定)

「大学連携強化！学校力向上拠点校事業」
令和3年度～令和4年度拠点校

- ・城東小学校
- ・見能林小学校
- ・日和佐小学校
- ・藍住北小学校
- ・福井中学校
- ・岩倉中学校
- ・板野中学校
- ・県立城ノ内中等教育学校
- ・県立富岡東中学校
- ・県立川島中学校

41

まとめ

- ・一人で頑張るのではなく、他の教員を巻き込んで実践してください。
- ・全国学力・学習状況調査やステップアップテストの結果分析は、全員で共通理解を図りましょう。
- ・学校の課題に対して、全員が課題意識をもち、各教員のベクトルを揃えて取り組みましょう。